

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 機械システム工学コース 准教授 大野 学

取組状況	
教育	<ul style="list-style-type: none">・オンライン授業の導入に伴い、課題型よりオンライン対面型で従来の教室によって行われている授業に近い形態が望まれることがわかった。これに向けた教材開発や配信方法の検討を引き続き行う。・低学年においては、授業を受ける態度の教育から行い、工学に対する興味付けの教育を行い、専門科目を学ぶ楽しさと長い5年間本校にて勉強する期待感を持たせる。・第4学年ゼミナール、第5学年卒業研究、専攻科特別研究において、毎月1回PPTを用いた報告会を行い、自分の考えを論理的に他人に理解してもらう技術を身につけさせた。問題の発見・解決方法の模索・協調して仕事をする能力を総合的に育成することが今後も継続課題である。
研究	<p>本年度から従来の学術研究に加え、企業とともに「生産向上に向けた自動化・省力化の検討」を行っている。</p> <p>対外的には下記のようなノート3件紙面発表した。</p> <ul style="list-style-type: none">・鮎の友釣りとその技術 第1回－多摩川のめぐみと鮎釣りとの出会い－,フルードパワーVol. 34 No.3,pp. 42-45
社会貢献	<ul style="list-style-type: none">・若手技術者支援のための講座「シーケンス制御」講師・大田区工業連合会との共催「プログラミングロボット教室」を開講し、運営を行った。